様式第１９号

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
|  |  |
| 工　　　　　　　期 | 年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日まで |
|  | 年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日まで・無期限 |
| 消費の方法 | （１か月最大） |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  | １孔当り装薬量　（最大）　　　㎏　　 電　気１回の発破孔数　（最大） 個 点火の方法１日の発破回数　（最大）　　　回 導火線１日の消費数量　（最大） 　㎏　 込物１か月の発破日数（最大） 回 発破予定時刻 |
| 危害予防の方法 |  | 別図の位置に立入禁止、　発破時刻、　注意事項を表示する。 |
|  | 警戒員　　　　名を別図の位置に配置する。 |
|  | サイレン　　　振鈴　　　　呼笛によって警報する。 |
|  | 構造　　　　　　　　　　　位置は別図のとおり　 |
| 要 ・ 否 | 通行車両　　定期バス　　不定期自動車　　軽車両　　歩行者遮断時間　　発破前　　　分～発破後　　　分 |
|  |  |
| 要 ・ 否 | ブラステングマット ブラステングシート　　 防爆マット たたみブラストフェンス　　飛石防止柵 むしろ　　かます　　こも俵その他（ ）を使用する。 |
| 火薬類取扱所 | 位 　　　　　置 | 安全で湿気の少ない場所に設ける。　火工所までの距離　　　　　ｍ |
| 構 　　　　　造 | 見張人を配置しない構造（　　　　　　　　　　　　　）造り見張人を配置する構造　（　　　　　　　　　　　　　）造り |
| 設　　　　　 備 | 境界柵　警戒札　照明設備　（配線　　　　　　）を設ける。 |
| 管　　　　　 理 | 帳簿を備え責任者を定めて、火薬類の受払い状況をその都度記録する。 |
| 火工所 | 位 　　　　　置 | 安全で湿気の少ない場所に設ける。　切羽までの距離　　　　　ｍ |
| 構 　　　　　造 | （　　　　　　　　　）造りとし、作業台を設ける。 |
| 設　　　　　 備 | 周囲柵　警戒札　照明設備　（配線　　　　　　）を設ける。 |
| 管　　　　　 理 | 帳簿を備え責任者を定めて、火薬類の受払い状況をその都度記録する。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 貯蔵場所 |  | 所在地種類、棟数　　　　　地上式　　　　　級火薬庫　　　　　棟有効期間（２級火薬庫のみ）　　　　　　 　年　　月　　日　まで |
|  | 所在地指示期間　　 　年　月　日　から　 　年　月　日 まで最大貯蔵量 |
|  | 所在地種類，棟数　　　　　地上式　　　　　級火薬庫　　　　　棟 |
|  貴殿所有の火薬類を消費期間中、私所有の上記火薬庫に保管することを承諾します。 　　年　　月　　日 住所 所有者 氏名 　 |
| 運搬の方法 | 車　　　　　 両 | （販売店名）自動車　　　二輪車　　　　委託運送（委託先　　　　　　　　）取扱所　火工所　火薬庫まで　　　　ｋｍ　　所要時間　　　　分 |
| 消費場所の火薬類取扱従事者の氏名 | 区　　　　　 分 |  氏　　　　　　名 | 年令 | 資格 | 保安手帳・従事者手帳 |
| 保安責任者（正） |  |  |  種 | 第　　　　号 |
| 　　〃 （代） |  |  |  種 | 第　　　　号 |
| 　　〃 （副） |  |  |  種 | 第　　　　号 |
|  |  |  |  種 | 第　　　　号 |
| 庫外貯蔵所責任者 |  |  |  | 第　　　　号 |
|  |  |  |  | 第　　　　号 |
|  |  |  |  | 第　　　　号 |
|  |  |  |  | 第　　　　号 |
|  |  |  |  | 第　　　　号 |
| 〃 |  |  |  | 第　　　　号 |
| 〃 |  |  |  | 第　　　　号 |
| 〃 |  |  |  | 第　　　　号 |
| 〃 |  |  |  | 第　　　　号 |

 （注）危害予防の方法、取扱所、火工所の概要、運搬方法欄は不要事項を消すか、又は必要事項を

　　 ○で囲むこと。

 添付書類 　消費場所付近の見取図等